

2019年度 第3回組織委員会 議事録

【日 時】2019年10月4日(金) 13:00 ~ 17:20

【会 場】日本代協 事務局

【出席者】中島委員長、高下・辻本・辻森 副委員長

北海道	細川	北東北	小林	南東北	山口	上信越	星野
東関東	秋葉	南関東	(高下)	東京	藤山	東海	生川
北陸	松岡	近畿	堂坂	阪神	(辻本)	東中国	横田
西中国	広藤	四国	三好	九州北	(辻森)	九州南	伊尻

横山副会長、小見常務、山本企画推進部長 (計 20 名)

(オブザーバー)工藤部長

【議事録】事務局

委員会の要旨(確認・決定したこと)

1. 組織 NEWS の共有

代協としての「スケジュールの作成」、「行事の運営」について重要事項を確認。各委員が実践する中で組織の活性化につなげる。

2. 組織委員会諮問・推進事項について、「ワールドカフェ方式」グループ討論を実施

3グループに分かれ、グループ討論を実施。好事例について情報共有を実施。

3. 「新入会員オリエンテーション」の実施

各委員から実施状況を報告。必ず実施すること、やり方を工夫し「仲間づくり」に繋げる。

4. 「仲間づくり推進キャンペーン」の実施

例年2月に実施している同キャンペーンについて、今年度も同時期に実施する。(委員会として承認、12月の理事会で審議)。

「委員会でのブロック対抗戦」「組織委員会内キャンペーン」「都道府県またぎの紹介」等も今後詳細を検討する。

5. 次回組織委員会までのコミットメント

各委員が所属する代協で新規に取り組むこと(1点)を宣言した。次回委員会で活動の進捗を全員で確認する。

1. 中島委員長 挨拶

仲間づくり推進の現状把握、今後どうやっていくかが、組織委員会の課題が大きな課題である。全国各地で災害が発生しているが、その実態を深掘して勉強していくことも、私たちの重要な責務。例えば、千葉のゴルフ練習場ネット倒壊による賠償責任、佐賀の重油被害などの補償はどうなるか、保険を付保する場合の限度額はいくらが適正かなど、みんなで論議し共有していく必要がある。全員でコミットできる委員会にしていきたい。

2. 横山副会長 挨拶

仲間づくり推進は、会社経営と同じ。会社は「社員とお金がないとまわらない」ことと同じで、組織も会員仲間づくりと会費のあり方を考えていかなければならない。また、「情報と熱を伝える」ことは、いわば「血流」であり、「理事会・委員会 ブロック 都道府県代協 各支部」までしっかり情報を流していく必要がある。一体感をもって組織を運営していくためには、「1人の100歩より100人の1歩」。後ほど、中島委員長から説明があると思うが、具体的に進めていくためには、「年間スケジュール」の作成などが、大きなヒントがあると思う。

【報告事項】

1. 2019年度 第4回理事会(9/12)、第1回ブロック長懇談会(9/13)報告

資料に基づき報告。

2. 代理店賠償「日本代協新プラン」継続手続き加入状況

9月末をもって募集手続きが完了。加入件数(10,020店)は昨年対比で減少(28店)したが、保険料(195,314千円)は前年度比較で増収することができた(+1,553千円)。今年度は遡及日の認知に努めた結果、継続率は96.4%となり、その中で新潟が継続率100%を達成。石川が99.2%、福井が99.1%で続いた。新潟代協は事務局のきめ細やかな電話対応が奏功している。

【審議事項】

1. 組織NEWSの共有

資料に基づき、中島委員長から説明。

(1)スケジュールの作成

情報と熱が伝わる組織づくりを進めるためには、「年間スケジュール」を作成することが重要。まずは「行事を整理」し「スケジュール化」することからスタート。作成するポイントは「日本代協 ブロック協議会 各都道府県代協 委員会 支部」の流れでスケジュールを整理する。できあがった年間スケジュールは、広報と連携し代協ホームページに必ず掲載する。

(2)行事の運営(セミナー編)

セミナー成功の秘訣は、「計画と進捗管理」。目的と担当を明確にし、「おもしろい」、「勉強になった」、「また行きたい」などと言えるものを考える。また、セミナーはできる限りオープン

化し、組織率の向上に役立てた方が良い。また、保険を売り込むことと同じで、「情宣時期」、「情宣方法」、「集客管理」が重要である。

2. 組織委員会への諮問・推進事項【ワールドカフェ方式でグループ討論】

3グループに分かれ、グループ討論を実施。各地の好事例は下記のとおり。

【好事例】

- ・マラソンボランティアで「保険は京都代協に」とPR(京都)
- ・収益事業でハウスメーカーと提携(岡山)
- ・「若手の会」をつくって活動(青森)
- ・「ふうたの豆知識」を支部長名で配信(東京)
- ・1件ごとのトレースによってイベントのアンケート回答率を高める(福島)
- ・保険会社・営業担当者とのランチミーティング(群馬)
- ・役割の明確化<副会長=組織委員長兼任、支部長=組織委員兼任>(東京)
- ・ホームページ運営の責任明確化<みんなで運営>、スマホ対応(東京)
- ・交通安全イベント参加<旗の波=50人で100本の旗を掲げる>(北海道)
- ・船漕ぎ大会への参加とチーム名の工夫<「入ってますか?地震保険」チーム>(北海道)
- ・保険会社との代理店名簿(代理店名のみ)交換(上信越)
- ・「名所めぐり編」防災マップの提案(福岡)
- ・大阪府と「住宅・建築物の防災・減災に関する事業連携協定」を締結(大阪)
- ・損保協会との連携による年2回のクリーンアップ活動<100名×年2回>(石川)
- ・ビデオ撮りによる動画の活用(神奈川)

3. 新入会員オリエンテーションの実施、仲間づくり推進運動の推進

各委員から実施状況を発表し、情報を共有。

【好事例】

- ・代協先輩会員が体験談を発表
- ・新入会員と紹介者もいっしょに参加してもらい、懇親会費も無料にする
- ・理事会やセミナーと同日に開催
- ・各委員会、支部、収益事業者がブースを出して、個別相談を受ける
- ・YouTubeチャンネル、動画の活用
- ・オリエンテーションに出てもらえるまで、新入会員に対する案内を続ける

4. 仲間づくり推進運動(正会員増強)目標に対する入会状況の確認

「連Q稼働」の推進、「仲間づくり推進キャンペーン」の実施、「目指せ、3冠王!」の推進

- ・キャンペーンは例年同様、2月に実施する(12月の理事会で審議)
- ・組織委員会内キャンペーンを検討(委員会でのブロック対抗戦、都道府県またぎの紹介等)

5. 次回組織委員会までのコミットメント

今回の委員会を受けて、各委員が次回の委員会までに新規に取り組むこと(1点)を宣言。

次回の委員会で進捗確認を行う。

6. その他

風水災補償の事故事例、日本代協アカデミー、税務対応等について情報交換を実施。

7. 横山副会長 まとめ

会員を増やすことだけにとどまらず、「組織をいかに活性化させるか」という点について、活発な論議があった。更に情報共有を進め、是非、実現につなげてほしい。

< 次回(2019年度第4回)組織委員会 = 開催予定日 >

2020年1月16日(木) 午後1時00分 ~ 午後5時30分

< 宿題 >

次回、委員会において

日本代協アカデミーの活用に関して情報交換。必ず使用してご参加ください。

会員オリエンテーションの詳細打合せ 標準化を着手

各代協組織図を共有

上記を、宿題とさせていただきます。よろしくお願い致します。

又、最後に約束達成をお祈りいたします。

以上